

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第6206032号
(P6206032)

(45) 発行日 平成29年10月4日 (2017. 10. 4)

(24) 登録日 平成29年9月15日 (2017. 9. 15)

(51) Int. Cl.

F 1

B 6 5 D 5/52 (2006. 01)

B 6 5 D 5/52 F

B 6 5 D 5/54 (2006. 01)

B 6 5 D 5/54 3 O 1 K

請求項の数 2 (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願2013-196399 (P2013-196399)
 (22) 出願日 平成25年9月24日 (2013. 9. 24)
 (65) 公開番号 特開2015-63308 (P2015-63308A)
 (43) 公開日 平成27年4月9日 (2015. 4. 9)
 審査請求日 平成28年7月21日 (2016. 7. 21)

(73) 特許権者 000002897
 大日本印刷株式会社
 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
 (74) 代理人 100096600
 弁理士 土井 育郎
 (72) 発明者 飯島 淳
 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
 大日本印刷株式会社内

審査官 家城 雅美

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ディスプレイ機能付きカートン

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

正面パネルと背面パネルと左右の側面パネルとからなる胴部と、その胴部の上下を閉じる蓋部と底部とからなるカートンであって、正面パネルには、下辺から所定距離だけ内側に離れた位置にある下側区画線と、左右両辺からそれぞれ所定距離だけ内側に離れた位置にある左側区画線と右側区画線とにより表示部分が区画されており、左側区画線と右側区画線のいずれか一方の区画線が折り線で形成されるとともに他方の区画線と下側区画線とが破断線で形成されており、一方の区画線の上端は正面パネルの上辺より下方に下端は下側区画線より上方にあり、その上端と下端にはそれぞれ内側下向きと内側上向きとなる湾曲状の破断線が設けられ、これにより表示部分には一方の区画線の上下にそれぞれ内向きの凸部が形成されるようになっており、他方の区画線はその上端が内側横方向に所定の長さだけ延びさらに上向きとなって正面パネルの上辺に至り、下端が内側横方向に所定の長さだけ延びさらに下向きになって下側区画線に至り、これにより表示部分には突出し部が形成されるようになっており、表示部分にはそれを縦方向に分割する位置に折り線が形成されており、破断線のところを切断した表示部分を折り線のところで外側に突き出るように折り曲げた状態で突出し部を正面パネル内の上下にある凸部に係止させて固定するようになっていることを特徴とするディスプレイ機能付きカートン。

【請求項2】

少なくとも正面パネルの上辺に折曲げ片が連設されており、一方の区画線の上端から延びる破断線が折曲げ片の端縁まで延設され、他方の区画線の上端から延びる破断線が折曲

げ片の端縁まで延設されており、折曲げ片の中央部分が表示部分の一部として用いられることを特徴とする請求項1に記載のディスプレイ機能付きカートン。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、板紙からなるカートンの技術分野に属し、詳しくは、菓子類などの個装製品をまとめて流通するとともに、これをそのまま店頭にて展示するために用いられるディスプレイ機能付きカートンに関するものである。

【背景技術】

【0002】

10

従来より、菓子類などの個装製品をまとめて運搬する際に、ダース函や10ピース、20ピースの集積ケースを始めとする各種の紙製カートンが用いられており、このような個装製品を集積したカートンにあっては、スーパーやコンビニエンスストアなどの店頭において販売するときに、カートン上部を取り去ることで中の個装商品を露出させ、カートンに入った状態のまま棚に並べるようにすることが行われている。そして、店頭に並べて陳列する場合、多くの商品がひしめき合っている限られた棚上の展示スペースにカートンを置くことになるが、このような場所に陳列した商品を購入者に目立たせるようにしたものとして、ディスプレイ機能を組み込んだカートンが知られている。

【0003】

例えば、特許文献1には、前板とそれに連設する天部フラップを残して上部を取り除いてから、前板上半と天部フラップとにより前方に傾斜して固定されるディスプレイパネルを形成するようにしたものが記載されている。また、特許文献2には、胴部を周回するジッパーで上部を開放して内容物を露出させてから、残った前板に区画されている傾斜表示板をその下方が突出する状態で固定するようにしたものが記載されており、特許文献3には、上部がないか或いは上部を切り取ったカートンにおける正面板の中央部で表示部分を形成し、正面板の両側部で商品の前方への点灯や落下を防止するようにしたものが記載されている。

20

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

30

【特許文献1】特開平10-338226号公報

【特許文献2】特開2001-213424号公報

【特許文献3】特開2004-51150号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

上記したディスプレイ機能の付いたカートンは、いずれも表示部分がカートン正面から下方に向かって前方に傾斜している。そのため、カートンの正面に立つと表示部分の内容がよく見えるが、カートンを離れたところや通路の遠くからは、表示部分が斜めになってその内容が見えにくいという問題がある。また、棚の前端に起立するプライスカード挿入部に表示部分の下部が重なって価格が見えにくくなるという問題もある。

40

【0006】

本発明は、このような問題点に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、離れた位置からも視認可能であり、またプライスカード挿入部の邪魔にならないようにしたディスプレイ機能付きカートンを提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0007】

上記の目的を達成するため、本発明のディスプレイ機能付きカートンは、正面パネルと背面パネルと左右の側面パネルとからなる胴部と、その胴部の上下を閉じる蓋部と底部とからなるカートンであって、正面パネルには、下辺から所定距離だけ内側に離れた位置に

50

ある下側区画線と、左右両辺からそれぞれ所定距離だけ内側に離れた位置にある左側区画線と右側区画線とにより表示部分が区画されており、左側区画線と右側区画線のいずれか一方の区画線が折り線で形成されるとともに他方の区画線と下側区画線とが破断線で形成されており、一方の区画線の上端は正面パネルの上辺より下方に下端は下側区画線より上方にあり、その上端と下端にはそれぞれ内側下向きと内側上向きとなる湾曲状の破断線が設けられ、これにより表示部分には一方の区画線の上下にそれぞれ内向きの凸部が形成されるようになっており、他方の区画線はその上端が内側横方向に所定の長さだけ延びさらに上向きとなって正面パネルの上辺に至り、下端が内側横方向に所定の長さだけ延びさらに下向きになって下側区画線に至り、これにより表示部分には突出し部が形成されるようになっており、表示部分にはそれを縦方向に分割する位置に折り線が形成されており、破断線のところを切断した表示部分を折り線のところで外側に突き出るように折り曲げた状態で突出し部を正面パネル内の上下にある凸部に係止させて固定するようになっていることを特徴としている。

10

そして、このディスプレイ機能付きカートンにおいて、少なくとも正面パネルの上辺に折曲げ片が連設されており、一方の区画線の上端から延びる破断線が折曲げ片の端縁まで延設され、他方の区画線の上端から延びる破断線が折曲げ片の端縁まで延設されており、折曲げ片の中央部分が表示部分の一部として用いられるように構成することができる。

【発明の効果】

【0008】

本発明のディスプレイ機能付きカートンは、開封して店頭の棚に陳列する際に、正面パネルの表示部分を区画する折り線を残して破断線のところを破り、その表示部分を外側に突き出るように折り線のところで折り曲げて係止手段により固定するだけで、簡単に表示部分を目立つ状態に組み立てることができる。そして、組み立てた表示部分は、縦方向に起立する状態で突き出ているので、離れた位置からも視認可能である。また、左右どちら側から見てもカートンの表面が見えるため、板紙に印刷を施す際に裏面に印刷することが不要である。また、表示部分を区画する下側区画線の位置を棚に合わせて適宜設計することにより、棚のプライスカード挿入部との干渉を避けることができる。

20

また、折曲げ片の中央部分を表示部分の一部として利用することにより、表示部分の上部を大きくすることができる。

【図面の簡単な説明】

30

【0009】

【図1】本発明に係るディスプレイ機能付きカートンの一例を示す斜視図である。

【図2】図1のディスプレイ機能付きカートンを組み立てるブランクを示す展開図である。

。

【図3】図2のブランクの一部を拡大して示す説明図である。

【図4】図1のディスプレイ機能付きカートンを開けた状態で示す斜視図である。

【図5】図1のディスプレイ機能付きカートンを開封した後でその表示部分を組み立てた状態で示す斜視図である。

【発明を実施するための形態】

【0010】

40

次に、本発明の実施形態について図面を参照しながら詳細に説明する。

【0011】

図1は本発明に係るディスプレイ機能付きカートンの一例を示す斜視図であり、このカートンは図2にその展開図を示すブランクを組み立てて形成される。

【0012】

図2のブランクは、板紙を打ち抜いて形成されたもので、図示のように、縦方向の折り線 a, b, c を介して左側面パネル 1、正面パネル 2、右側面パネル 3、背面パネル 4 がこの順で連設され、左側面パネル 1 の反対側に折り線 d を介して糊代片 5 が連設されている。また、左側面パネル 1 と右側面パネル 3 の下辺にはそれぞれ折り線 e, f を介して底面パネル 6, 7 連設され、正面パネル 2 と背面パネル 4 の下辺にはそれぞれ折り線 g, h

50

を介して底片 8, 9 が連設されており、正面パネル 2 と背面パネル 4 の上辺にはそれぞれ折り線 i, j を介して折曲げ片 10, 11 が連設されており、左側面パネル 1 の上辺には折り線 k を介して蓋パネル 12 が連設され、その蓋パネル 12 の先端には折り線 l を介して差込み片 13 が連設されている。

【0013】

このブラנקの正面パネル 2 には、図 3 に拡大して示すように、組立てが可能な表示部分 D が区画されている。すなわち、正面パネル 2 の下辺から所定距離だけ内側に離れた位置にある下側区画線 m と、左右両辺からそれぞれ所定距離だけ内側に離れた位置にある左側区画線 n と右側区画線 o とにより表示部分 D が区画されている。このうち左側区画線 n は押し罫からなる折り線で形成されるとともに、下側区画線 m と右側区画線 o は図示の如く複数のツナギのある切れ目線からなる破断線で形成されており、表示部分 D にはそれを縦方向に二分する位置に折り線 p が形成されている。

10

【0014】

表示部分 D の左側区画線 n は、上端が正面パネルの上辺より少し下方にあり、その上端から内側下向きに延びる湾曲状の補助線 q が正面パネル 2 の上辺まで設けられ、その補助線 q はツナギのある切れ目線で形成されており、折曲げ片 10 の端縁まで真っ直ぐ上向きに延設されている。また、左側区画線 n の下端は表示部分の下側区画線 m より少し上方にあり、その下端から内側上向きに延び下側区画線 m に至る湾曲状の補助線 r が設けられ、その補助線 r はツナギのある切れ目線で形成されていて下側区画線 m の左側を延長した形になっている。これにより、表示部分 D の左側には、折り線である左側区画線 n の上下にそれぞれ内向きの凸部が形成されるようになっている。

20

【0015】

表示部分 D の右側区画線 o は、上端が正面パネルの上辺より少し下方で内側に小さく湾曲して横方向に所定の長さだけ延び、さらに小さく湾曲して上向きとなる屈曲状の補助線 s が正面パネル 2 の上辺まで設けられ、その補助線 s はツナギのある切れ目線で形成されており、折曲げ片 10 の端縁まで真っ直ぐ上向きに延設されている。また、右側区画線 o の下端は表示部分の下側区画線 m より少し上方で内側に小さく湾曲して横方向に所定の長さだけ延び、さらに小さく湾曲して下向きとなる屈曲状の補助線 t を経て下側区画線 m に至っており、その補助線 t はツナギのある切れ目線で形成されていて下側区画線 m の右側を延長した形になっている。これにより、表示部分 D の右側には、右側区画線 o と上下の補助線 s, t により突出し部が形成されるようになっている。

30

【0016】

そして、破断線のところで切り取った表示部分 D を二つ折りしたときに、右側の突出し部が左側区画線 n の上下にある凸部と係合できるようにするため、上下の補助線 s, t は左側区画線 n の上端と下端にそれぞれ合致する高さであって、中央の折り線 p から左側区画線 n までの距離を含む長さの線分となるように形成されている。

【0017】

図 2 のブラנקを組み立てて図 1 に示すディスプレイ機能付きカートンを形成するが、その手順は通常のカートンと同様である。まず、底面パネル 6, 7 の折返し部 6a, 7a をそれぞれ底片 8, 9 に貼り合わせるとともに、糊代片 5 を背面パネル 4 に貼り合わせたサック貼り状態で折り畳む。そして、この折り畳んだブラנקを起こすと、底面パネル 6, 7 の部分がオートロックされてカートンの底部が形成される。なお、底面パネル 6, 7 の折返し部 6a, 7a を区画する折り線 u, v は、押し罫の途中に切込みのあるリード罫で形成されている。このように起函してから、複数個の個装製品を並べた状態で中に入れ、折曲げ片 10, 11 を折り込んでから、蓋パネル 12 の先端にある差込み片 13 を右側面パネル 3 の内側に差し込んで蓋パネル 12 を閉じることで組立てを完了する。

40

【0018】

図 1 のディスプレイ機能付きカートンは、店頭に陳列するに際し、蓋パネル 12 を開けて開封した後、中の個装製品 S を取出しやすくするため、図 4 に示すように蓋パネル 12 を切り離す。このとき、折曲げ片 11, 10 も切り離すようにするが、正面パネル 2 の折

50

曲げ片 10 については、補助線 q, s からなる破断線で区画された両端部分のみを切り離して残りを表示部分 D の一部とする。そして、蓋パネル 12、折曲げ片 11、折曲げ片 10 の両端部分を切り離すのを容易とするため、図 2 に示すように、折り線 k、折り線 j、折り線 i の両端部分をミシン目で形成しておくことが好ましい。

【0019】

このように開封後のカートンの上部を開けてから、図 5 に示す如く、正面パネル 2 の表示部分 D を組み立てる。具体的には、表示部分 D の折り線（左側区画線 n）を残して破断線（右側区画線 o、上下の補助線 s, t、下側区画線 m、上下の補助線 q, r）のところを破り、左側区画線 n で繋がった表示部分 D を外側に突き出るように中央の折り線 p のところで二つ折りし、右側の突出し部を左側区画線 n の上下にある凸部と係合させて固定する。このようにして組み立てることで、図 5 に示すように、正面パネル 2 に区画されていた表示部 D が縦方向に起立した状態で突き出た状態となる。したがって、手で簡単に表示部分を目立つ状態に組み立てることができる。

10

【0020】

上記のディスプレイ機能付きカートンは、表示部分 D を組み立ててから店頭にて棚に並べる。このように棚上に陳列すると、表示部分 D は縦方向に起立する状態で突き出ているので、通路の端の方の離れた位置から視認することができる。そして、正面パネル 2 は表示部分 D を区画していたところが開いているので、棚の前方から中の個装商品 S を取り出しやすいという利点もある。また、左右どちら側から見てもカートンの表面が見えるため、板紙に印刷を施す際に裏面に印刷することが不要である。また、表示部分 D を区画する下側区画線 m の位置を棚に合わせて適宜設計することにより、棚のプライスカード挿入部との干渉を避けることができる。

20

【0021】

以上、本発明の実施の形態について、一つの例を挙げて詳細に説明してきたが、本発明によるディスプレイ機能付きカートンは、上記実施の形態に何ら限定されるものではなく、本発明の趣旨を逸脱しない範囲において種々の変更が可能であることは当然のことである。

【0022】

例えば、上記の例では、表示部分を二分する位置に折り線を設けておき、外側に突き出るように二つ折りしたが、本発明での表示部分は三分割、四分割あるいはそれ以上に分割するところに折り線を設けることも可能であり、このように 3 本以上の折り線を設けることで表示部分を立体的に突き出る形で組み立てることができる。

30

【0023】

また、上記の例では、表示部分 D を外側に突き出るように二つ折りした状態で固定する係止手段として、突出し部と上下の凸部の組合せからなる構成を採用したが、他の係止手段を採用しても構わない。

【0024】

また、上記の例では、折曲げ片 10 の中央部分を表示部分 D の一部として利用しており、これによって表示部分 D の上部を大きくしているが、必要に応じて、折曲げ片 10 全体を切り落とすように構成してもよい。

40

【符号の説明】

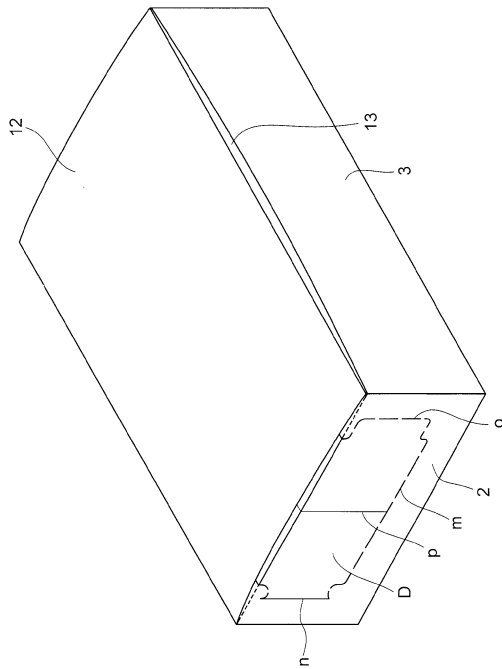
【0025】

- 1 左側面パネル
- 2 正面パネル
- 3 右側面パネル
- 4 背面パネル
- 5 糊代片
- 6, 7 底面パネル
- 6a, 7a
- 8, 9 底片

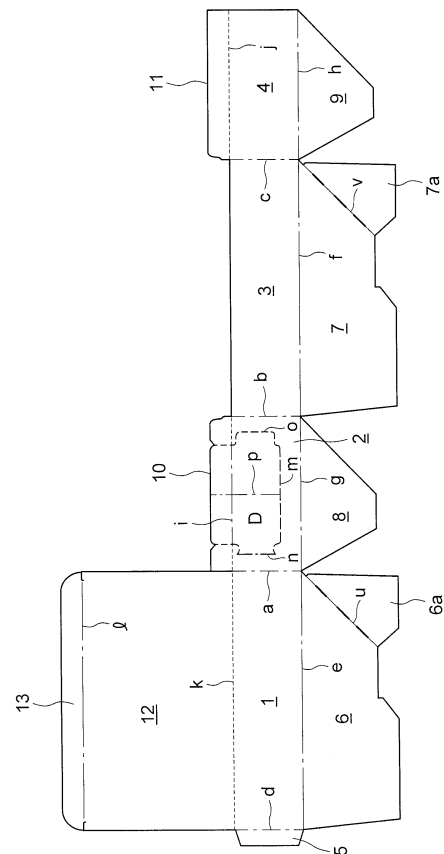
50

- 10, 11 折曲げ片
 12 蓋パネル
 13 差込み片
 D 表示部分
 a~l 折り線
 m 下側区画線
 n 左側区画線
 o 右側区画線
 p 折り線
 q~t 補助線
 u, v 折り線

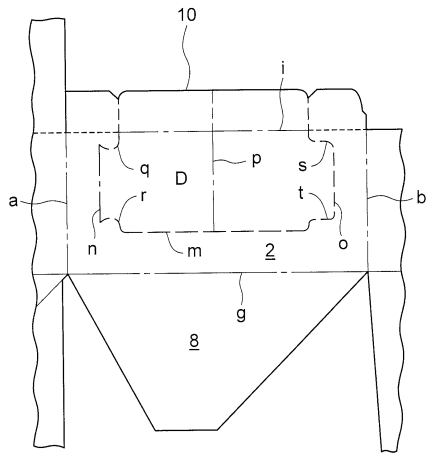
【図 1】



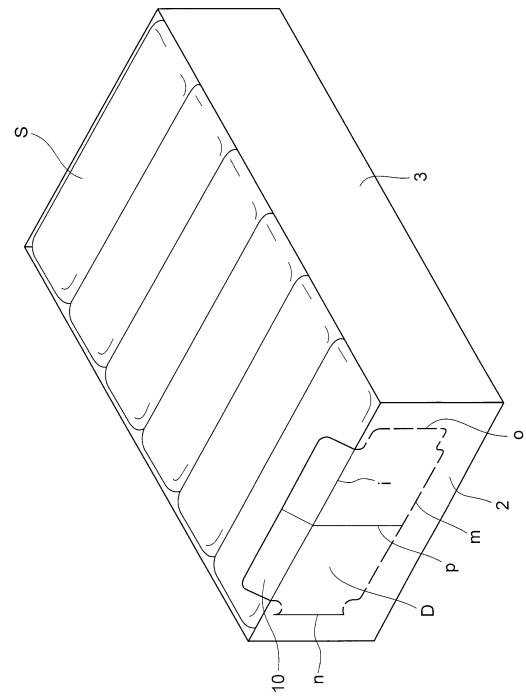
【図 2】



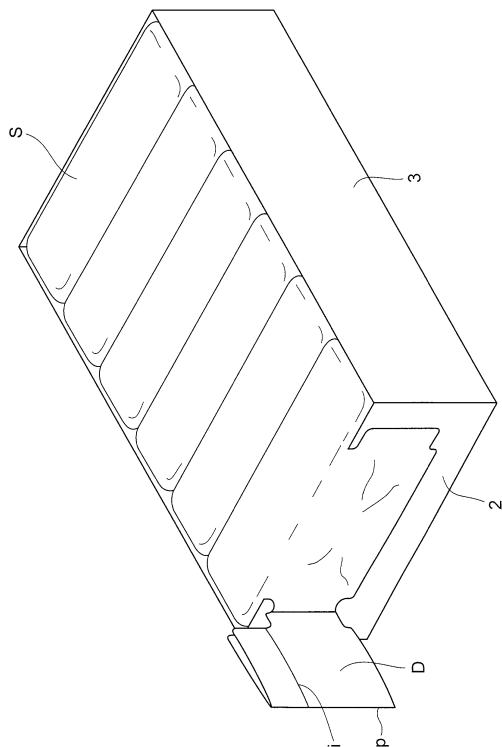
【図 3】



【図 4】



【図 5】



フロントページの続き

- (56)参考文献 特開2001-171653 (JP, A)
特開2011-230778 (JP, A)
登録実用新案第3147086 (JP, U)
米国特許第05377821 (US, A)

- (58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
B65D5/00-5/76